

齒科醫學各論

各論 I 成長・発育に関連した疾患・病態〔約20%〕

大項目	中項目	小項目	備考
1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常	ア 口腔・顎顔面の先天異常	a 顔面裂	
		b 口唇裂・口蓋裂	
	イ 遺伝性疾患(主に口腔に症状がみられる)	a Beckwith-Wiedemann症候群<EMG症候群>	
		b Marfan症候群	
		c Papillon-Lefèvre症候群	
		d エナメル質形成不全{症}	
		e 骨形成不全症	
		f 先天性表皮水疱症	
		g 先天性外胚葉形成不全<先天性外胚葉異形成症>	
		h 象牙質形成不全症	
		i 象牙質異形成症	
		j 低フォスファターゼ症	
	ウ 遺伝性疾患(主に頭蓋・顎顔面に症状がみられる)	a Apert症候群<尖頭合指症>	
		b Crouzon症候群<頭蓋顔面異骨症>	
		c Robinシーケンズ<Pierre Robin症候群>	
		d Treacher Collins症候群<下顎顔面異骨症>	
		e 鎖骨頭蓋骨異形成症<鎖骨頭蓋異骨症>	
		f 第一第二鰓弓症候群	Goldenhar症候群を含む
		g 軟骨無形成症	
	エ 染色体異常	a Down症候群	
		b Turner症候群	
2 歯の異常	ア 数の異常	a 過剰歯	
		b 先天欠如	
	イ 形態の異常	a 癒合歯、癒着歯、双生歯	
		b 中心結節	
		c 歯内歯	
		d 矮小歯	円錐歯
		e 巨大歯	
		f Hutchinsonian歯、Fournier歯	
		g タウロドント	
		h 歯根の異常	
		i 異所性エナメル質	エナメル滴、エナメル突起
	ウ 構造の異常	a 歯のフッ素症	
		b エナメル質形成不全{症}	Turnerの歯、エナメル質減形成症
		c 象牙質形成不全{症}	

大項目	中項目	小項目	備考
3 口腔・顎顔面の疾患	ア 歯の疾患	a 歯牙腫	
		b 異所萌出	
		c 埋伏歯	
		d 低位乳歯	
		e 早期萌出乳歯	先天歯、新生児歯
		f 萌出遅延	
	イ 口腔軟組織の疾患	a 口角びらん	
		b 先天性下唇瘻・口角瘻	
		c 萌出嚢胞	
		d 歯肉嚢胞	上皮真珠
		e Bednarアフタ	
		f 小帯異常	上唇小帯異常、舌小帯異常
		g 粘液嚢胞	粘液瘤、ラヌーラ、Blandin-Nuhn {腺}嚢胞<前舌腺嚢胞>
		h 巨舌症、小舌症	
		i Riga-Fede病	
	ウ ウイルス感染による疾患	a 単純疱疹	疱疹性歯肉口内炎、口唇ヘルペスを含む
		b 水痘・帯状疱疹	
		c 手足口病	
		d ヘルパンギーナ	
		e 麻疹	Koplik斑
	エ 顎関節疾患	a 下顎頭欠損、関節突起発育不全	
		b 下顎頭肥大	
		c 顎関節疾患	顎関節強直症を含む
4 歯の外傷	ア 歯の外傷の状況と影響	a 乳歯と永久歯外傷の疫学	
		b 外傷の分類	
		c 外傷歯と後継永久歯への影響	
	イ 診察と診断、治療方針		
	ウ 乳歯・幼若永久歯の外傷の処置と経過		
	エ 小児の歯の外傷の予防	a スポーツによる歯の外傷の予防	
		b 児童虐待と歯の外傷	
5 歯列・咬合異常の予防	ア 歯列・咬合異常の要因		
	イ 保隙(静的咬合誘導)	a 保隙装置の分類	
		b 保隙装置の適応症	
		c 保隙装置の製作法	
	ウ 動的咬合誘導		
	エ 口腔習癖とその対応		

大項目	中項目	小項目	備考
6 不正咬合の病因・病態	ア 正常咬合の概念と成立の条件		
	イ 不正咬合の種類		
	ウ 不正咬合の分類		
	エ 不正咬合の原因		
	オ 不正咬合による障害		
7 不正咬合の診断	ア 診察		
	イ 検査		
	ウ 診断		抜歯・非抜歯の判定を含む
	エ 治療計画		
8 矯正力と固定	ア 狭義の矯正力		
	イ 顎整形力		
	ウ 生体反応		
	エ 固定		歯科矯正用アンカースクリューを含む
9 矯正装置	ア 唇舌側弧線装置	a リンガルアーチ<舌側弧線装置>	
		b トランスパラタルアーチ	
		c Nanceのホールディングアーチ	
		d タングクリブ	
	イ 顎外固定装置	a ヘッドギア	
		b チンキャップ<オトガイ帽装置>	
		c 上顎前方牽引装置	
	ウ マルチブラケット装置		
	エ 拡大装置	a 急速拡大装置	
		b クワドヘリックス装置	
	オ 機能的矯正装置	a アクチバトール	
		b バイオネーター	
		c Fränkel装置	
		d リップバンパー	
	カ 床矯正装置	a 咬合挙上板	
		b 咬合斜面板	
		c スライディングプレート	
	キ 保定装置	a Hawleyタイプリテーナー	
		b Beggタイプリテーナー<ラップアラウンドリテーナー、サーカムフェレンシャルタイプリテーナー>	
		c トゥースポジショナー	
		d 犬歯間保定装置	
10 不正咬合の治療	ア 不正咬合の予防		
	イ 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療		

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	ウ 永久歯列期の不正咬合の治療		
	エ 先天性疾患を伴う不正咬合の治療		
	オ 顎変形症の治療		
	カ 補綴・歯周治療との併用		
	キ 治療中の管理		
	ク 保定		
	ケ 偶発症		

各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患〔約24%〕

大項目	中項目	小項目	備考
1 歯の硬組織疾患	ア 歯の硬組織疾患の病因と病態	a 齲蝕の病因	脱灰、再石灰化を含む
		b 齲蝕のリスクファクター	
		c tooth wear<歯の損耗>	咬耗症、摩耗症、酸蝕症、アブフラクション、くさび状欠損
		d 象牙質知覚過敏症	
		e 歯の変色・着色	
		f 歯の亀裂・破折	
	イ 歯の硬組織疾患の予防・管理	a 齲蝕の予防・管理	
		b 齲蝕の予防効果の評価	
		c 初期齲蝕の診断	
		d フッ化物応用	
		e 食生活指導	
		f 口腔清掃指導	
		g 歯の変色・着色予防	
	ウ 歯の硬組織疾患の治療	a 乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法	
		b 永久歯の直接修復法	
		c 永久歯の間接修復法	
		d 窩洞形成法	
		e 象牙質・歯髄保護法	
		f 補修修復	
		g 歯の漂白	
		h 身体的・社会的・心理的要因と保存修復	
	エ 小児の歯の硬組織疾患	a 乳歯齲蝕	
		b 幼若永久歯齲蝕	
		c 齲蝕のリスクファクター	
		d 非齲蝕性硬組織疾患	
	オ 高齢者の歯の硬組織疾患	a 根面齲蝕	
		b 非齲蝕性硬組織疾患	
2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患	ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態	a 歯髄疾患	
		b 根尖性歯周疾患	
		c 歯内-歯周疾患	
		d 歯の外傷	
		e 内部吸収、歯根外部吸収	
		f 根尖性歯周疾患が全身に及ぼす影響	

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療	a 歯髄保存療法	
		b 歯髄除去療法	
		c 根尖性歯周疾患の治療	緊急処置を含む
		d 根管処置	根管形成、根管の化学的清掃、根管貼薬、仮封
		e 根管充填	
		f 根未完成歯の治療	
		g 外科的歯内療法	
		h 内部吸収歯・歯根外部吸収歯の治療	
		i 外傷歯の治療	
		j 偶発症と安全対策	
	ウ 小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患	a 乳歯の歯髄疾患と治療	
		b 乳歯の根尖性歯周疾患と治療	
		c 幼若永久歯の歯髄疾患と治療	
		d 幼若永久歯の根尖性歯周疾患と治療	
	エ 高齢者の歯髄疾患・根尖性歯周疾患	a 高齢者の歯髄疾患と治療	
		b 高齢者の根尖性歯周疾患と治療	
3 歯周疾患	ア 歯周疾患の病因と病態	a 歯肉病変	
		b 歯肉病変のリスクファクター	
		c 歯周炎	
		d 歯周炎のリスクファクター	
		e 壊死性歯周疾患	
		f 咬合性外傷	
		g 歯周組織の膿瘍	
		h 歯肉退縮	
		i 歯周-歯内病変	
		j 歯周疾患と健康の関わり	
	イ 歯周疾患の予防・管理	a 歯肉炎の予防・管理	
		b 歯周炎の予防・管理	
		c 予防効果の評価	
		d 口腔清掃指導	
		e 禁煙指導・支援	
		f 生活習慣指導	

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	ウ 歯周疾患の治療	a 急性症状を有する歯周疾患への対応	
		b 歯周基本治療	
		c 咬合性外傷に対する治療	
		d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療)	エナメルマトリックスタンパク質
		e 歯周外科治療(歯周形成手術)	
		f 根分岐部病変の治療	
		g 口腔機能回復治療	
		h 薬物療法	
		i メインテナンス、SPT<supportive periodontal therapy>	
		j 全身疾患を有する者の歯周疾患治療	
	エ 小児期にみられる歯周疾患	a 小児の歯肉病変・歯周炎の特徴	
		b 小児の歯肉病変・歯周炎への対応	
	オ 高齢者が有する歯周疾患		

各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患〔約24%〕

大項目	中項目	小項目	備考
1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療	ア 先天異常と変形を主徴とする疾患の病態・診断・治療	a 口唇裂・口蓋裂	鼻咽腔閉鎖不全、顔面裂、言語治療を含む
		b 口唇・頬部の異常	
		c 舌・口底の異常	
		d 歯肉・口蓋の異常	
		e 小帯の異常	
	イ 軟組織の損傷の病態・診断・治療	a 口腔軟組織の損傷	
		b 顔面軟組織の損傷	
	ウ 軟組織の炎症の病態・診断・治療	a 歯冠周囲炎<智歯周囲炎>	
		b 口腔軟組織の炎症	歯肉膿瘍、歯槽膿瘍、骨膜下膿瘍、蜂窩織炎<蜂巣炎>、組織隙の炎症、歯性扁桃周囲炎を含む
		c 所属リンパ節の炎症	
		d 歯性上顎洞炎	
		e 歯性全身感染症	菌血症、敗血症、歯性病巣感染、全身性炎症反応症候群<SIRS>、感染性心内膜炎
		f 肉芽腫性炎	放線菌症、口腔結核、口腔梅毒
	エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療	a 歯原性嚢胞	
		b 非歯原性嚢胞	
	オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	a 歯原性良性腫瘍	
		b 非歯原性良性腫瘍	
		c 口唇癌	
		d 舌癌	
		e 頬粘膜癌	
		f 口蓋癌	
		g 歯肉癌	
		h 口底癌	
		i 上顎洞癌	
		j 軟組織の肉腫	
		k 白血病	
		l 悪性リンパ腫	
		m 悪性黒色腫	
		n 前癌病変、前癌状態	上皮異形成<上皮性異形成>
		o 腫瘍類似疾患	エプーリス、義歯性線維腫、薬物性歯肉増殖症など
	カ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療	a 外科療法	再建術、頸部郭清術を含む
		b 化学療法	分子標的薬を含む
		c 放射線療法	
		d 免疫療法	

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	キ がん治療患者の管理	a がんの告知	
		b 治療時の患者管理・生活習慣指導	口腔衛生管理、口腔ケアを含む
		c 社会復帰	
		d 末期癌患者の管理	
		e 緩和医療	
	ク 口腔粘膜疾患の病態・診断・治療	a ウイルス性口内炎	単純疱疹、带状疱疹、手足口病、ヘルパンギーナを含む
		b 天疱瘡、類天疱瘡	
		c 多形〔滲出性〕紅斑	
		d 薬物性口内炎	粘膜・皮膚・眼症候群〈Stevens-Johnson症候群〉、中毒性表皮壊死剥離症〈TEN〉を含む
		e 全身性エリテマトーデス〈SLE〉	
		f 慢性再発性アフタ	
		g Behçet病	
		h 壊死性潰瘍性歯肉口内炎、壊疽性口内炎	
		i 口腔扁平苔癬	
		j 口腔カンジダ症〈鵝口瘡〉	
		k 白板症	
		l 紅板症	
		m 内因性色素沈着	メラニン色素沈着症、Peutz-Jeghers症候群、Addison病などを含む
		n 外因性色素沈着	
		o 色素性母斑	
		p von Recklinghausen病〈神経線維腫症Ⅰ型〉	
		q 口腔乾燥症	
		r 貧血を伴う舌炎	鉄欠乏性貧血、Plummer-Vinson症候群、Hunter舌炎を含む
		s 溝〔状〕舌	
		t 毛舌	黒毛舌を含む
		u 地図状舌	
		v 正中菱形舌炎	
		w 肉芽腫性口唇炎	Melkersson-Rosenthal症候群を含む
		x 口角炎、口角びらん	
2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療	ア 顎顔面の変形をきたす疾患・病態・診断	a 顎変形症	
		b 下顎頭欠損	
		c 顎顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群	茎状突起過長症、筋突起過長症を含む

大項目	中項目	小項目	備考
	イ 顎顔面骨の変形に対する治療	a 顎矯正手術	
		b 補綴前外科手術	
		c 骨移植術<骨増量術>	上顎洞底挙上術
		d 骨延長術	
		e 下顎頭形成術	
	ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療	a 歯の亀裂・破折・脱臼	歯の再植を含む
		b 歯槽骨骨折	
		c 下顎骨骨折	関節突起骨折を含む
		d 上顎骨骨折	吹き抜け骨折を含む
		e 頬骨・頬骨弓骨折	吹き抜け骨折を含む
		f 鼻骨骨折	
		g 口腔上顎洞瘻	
	エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療	a 歯槽骨炎、顎骨炎	
		b 顎骨骨膜炎	
		c 顎骨骨髓炎	
		d 歯性上顎洞炎	
		e 放射線性骨壊死	
		f 薬剤関連顎骨疾患	薬剤関連顎骨壊死・壊疽・骨髓炎
		g 外歯瘻、内歯瘻	
		h 顎骨周囲軟組織の炎症	歯肉膿瘍、骨膜下膿瘍、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎
	オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療	a 歯原性嚢胞	
		b 非歯原性嚢胞	
	カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	a 歯原性良性腫瘍	
		b 歯原性悪性腫瘍	
		c 非歯原性良性腫瘍	
		d 非歯原性悪性腫瘍	
		e 骨関連病変	外骨症、骨隆起を含む
		f 線維骨性病変	線維性{骨}異形成症、骨性異形成症、骨形成線維腫
		g 巨細胞性病変	
	キ 顎骨に発生する腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断と治療	a 顎骨腫瘍の外科療法	
		b 顎骨の再建	
		c 顎顔面補綴	
		d 顎顔面インプラント治療	

大項目	中項目	小項目	備考
3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療	ア 唾液腺疾患の病態・診断・治療	a 発育異常	
		b 異所性唾液腺	
		c 唾液腺損傷	唾液瘻、Frey症候群、外来異物を含む
		d 唾液腺炎、唾液管炎	ウイルス性唾液腺炎を含む
		e Sjögren症候群	
		f 粘液嚢胞	粘液瘤、ラヌーラ、Blandin-Nuhn{腺}嚢胞<前舌腺嚢胞>
		g 良性腫瘍	
		h 悪性腫瘍	
		i 腫瘍類似疾患	
		j IgG4関連疾患	
		k 唾石症	
		l 口腔乾燥症	放射線障害、薬物副作用を含む
		m 流涎症	
	イ 神経疾患の病態・診断・治療	a 三叉神経痛	
		b 三叉神経麻痺	
		c 顔面神経麻痺	
		d 舌咽神経痛	
		e 舌下神経麻痺	
		f 非菌原性菌痛	
		g 外傷性神経障害	
		h 顔面けいれん	
		i 帯状疱疹後神経痛	
		j 舌痛症	
	ウ 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療	a 下顎頭欠損、関節突起発育不全	
		b 下顎頭肥大	
		c 関節突起骨折	
		d 顎関節脱臼	
		e 非感染性顎関節炎	外傷性{顎}関節炎を含む
		f 感染性顎関節炎	急性化膿性顎関節炎
		g 顎関節リウマチ<リウマチ性顎関節炎>	
		h 痛風性顎関節炎	
		i 腫瘍および腫瘍類似疾患	骨軟骨腫、滑膜性骨軟骨腫症を含む
		j 顎関節強直症	
		k 顎関節症	咀嚼筋痛障害、顎関節痛障害、顎関節円板障害、変形性顎関節症
		l 咀嚼筋腱・腱膜過形成	

大項目	中項目	小項目	備考
4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療	ア 口腔・顎顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群	a Apert症候群<尖頭合指症>	
		b Beckwith-Wiedemann症候群<EMG症候群>	
		c Crouzon症候群<頭蓋顔面異骨症>	
		d Down症候群	
		e Gardner症候群	
		f Marfan症候群	
		g McCune-Albright症候群<多骨性線維性{骨}異形成症>	
		h Melkersson-Rosenthal症候群	
		i Peutz-Jeghers症候群	
		j Ramsay Hunt症候群<Hunt症候群>	
		k Robinシークエンス<Pierre Robin症候群>	
		l Sturge-Weber症候群	
		m Treacher Collins症候群<下顎顔面異骨症>	
		n von Recklinghausen病<神経線維腫症Ⅰ型>	
		o 基底細胞母斑症候群	
		p 口腔・顔面・指趾症候群<OFD症候群>	
		q 骨形成不全症	
		r 鎖骨頭蓋骨異形成症<鎖骨頭蓋異骨症>	
		s 第一第二鰓弓症候群	Goldenhar症候群を含む
		t 大理石骨病	
	イ 口腔症状を呈するウイルス感染症	a ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症	後天性免疫不全症候群<AIDS>、毛状<様>白板症を含む
		b 風疹	
		c 麻疹	
		d 水痘・帯状疱疹	Ramsay Hunt症候群<Hunt症候群>を含む
		e 単純疱疹	
		f 手足口病	
		g ヘルパンギーナ	
	ウ 口腔症状を呈する細菌感染症	a 梅毒	
		b 破傷風	
		c 結核	
	エ 口腔症状を呈するアレルギー性疾患・免疫異常	a 金属アレルギー	口腔苔癬様病変を含む
		b アレルギー性紫斑病	
		c Quincke浮腫	遺伝性血管性浮腫を含む
		d 移植片対宿主病<GVHD>	

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	オ 口腔症状を呈する自己免疫疾患	a 天疱瘡、類天疱瘡	
		b 関節リウマチ	
		c 全身性エリテマトーデス<SLE>	
		d 特発性血小板減少性紫斑病<免疫性血小板減少性紫斑病><ITP>	
		e 悪性貧血	
	カ 口腔症状を呈する内分泌障害、代謝障害	a 先端巨大症<下垂体性巨人症>	
		b 成長ホルモン分泌不全性低身長<下垂体性小人症>	
		c 甲状腺機能亢進症	
		d 甲状腺機能低下症	
		e 副甲状腺機能亢進症	
		f Cushing病、Cushing症候群	
		g アルドステロン症	
		h Addison病	
		i 糖尿病	
		j アミロイドーシス	
		k 鉄欠乏性貧血	Plummer-Vinson症候群を含む
	キ 口腔症状を呈する栄養障害	a くる病	
		b 壊血病	
	ク 赤血球系疾患	a 貧血	鉄欠乏性貧血、再生不良性貧血を含む
		b 赤血球増多症	
	ケ 白血球系疾患	a 白血病	
		b 無顆粒球症	
		c 悪性リンパ腫	
		d 多発性骨髄腫	
	コ 出血性素因	a Osler病	
		b アレルギー性紫斑病	
		c 特発性血小板減少性紫斑病<免疫性血小板減少性紫斑病><ITP>	
		d 血小板無力症	
		e 血友病A・B	
		f 播種性血管内凝固症候群<DIC>	
	サ 赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点		
	シ 口腔・顎顔面領域に関連して現れる精神・心身医学的病態	a 気分障害	抑うつ障害、双極性障害、心的外傷およびストレス因関連障害など
		b 不安障害	
		c 身体表現性障害	身体症状症
		d 心身症	

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	ス 全身管理に留意すべき疾患・状態	a 呼吸器疾患	
		b 循環器・脳血管疾患	先天性心疾患、高血圧緊急症を含む
		c 消化器疾患	
		d 血液・造血器疾患	骨髄異形成症候群を含む
		e 泌尿器・生殖器疾患	
		f 精神・心身医学的疾患	
		g 神経・運動器疾患	
		h 内分泌疾患	
		i 代謝性疾患	
		j 免疫疾患	
		k 妊娠	
	セ 歯科治療時の患者管理・麻酔管理	a 術前管理	
		b 術中管理	
		c 術後管理	
	ソ 歯科における全身的偶発症とその対応	a 血管迷走神経反射	
		b 過換気症候群	
		c 局所麻酔薬中毒	
		d アナフィラキシーショック	
		e 血管収縮薬による反応	
		f メトヘモグロビン血症	
		g 誤飲、誤嚥	
		h 合併する全身疾患の増悪	
5 顎・口腔領域の疾患の予防	ア 生活習慣指導	a がんの予防	
		b 栄養障害の予防	
		c 顎関節疾患の予防	
		d 損傷の予防	マウスガードを含む
		e 口臭の予防	
		f 味覚障害の予防	
		g 口腔乾燥症の予防	
		h 口腔粘膜疾患の予防	禁煙指導・支援

各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害〔約24%〕

大項目	中項目	小項目	備考
1 病態	ア 咬合・咀嚼障害		
	イ 摂食嚥下障害		
	ウ 構音・発語障害		
	エ 審美障害		
	オ 心理社会的障害		
	カ 口腔機能障害・口腔顔面痛		
	キ ブラキシズム		
	ク 睡眠時無呼吸		
2 診察、検査、診断	ア 診察		
	イ 検査と評価	a 形態的・審美的評価	
		b 機能的評価	
		c 力学的評価	
		d 身体社会的・心理的評価	
		e 栄養評価	
		f 補綴装置の評価	生物学的要件、機能的要件、形態的要件、力学的要件、咬合力の支持様式、咬合様式、審美的要件、材料的要件を含む
		g 研究用模型による検査	
		h 口腔衛生状態の評価	
		i その他	
	ウ 診断		回復の到達目標を含む
	エ 治療計画の立案		治療法の選択を含む
3 クラウンブリッジによる治療	ア クラウンブリッジの設計		補綴装置の選択、診断用ワックスアップを含む
	イ 臨床操作	a 前処置	
		b 支台歯形成	
		c 支台築造	
		d 印象採得	口腔内スキャナー
		e プロビジョナルレストレーション	
		f 顎間関係の記録	
		g 患者情報の記録と伝達	
		h 口腔内試適	調整方法
		i 装着	装着材料
	ウ 技工操作	a ロストワックス法による製作	作業用模型の製作、ワックスパターン形成、埋没、鋳造、ろう付け、熱処理、前装方法、研磨
		b CAD/CAMによる製作	
4 部分床義歯による治療	ア 義歯の設計	a 設計の原則	
		b 義歯の構成要素	
		c オーバーデンチャー	

大項目	中項目	小項目	備考
	イ 臨床操作	a 前処置	
		b 印象採得	
		c 顎間関係の記録	
		d フレームワークの試適	
		e ろう義歯の試適	
		f 装着	
	ウ 技工操作	a 個人トレーの製作	
		b 作業用模型の製作	
		c 咬合器装着・調節	
		d サベイング、設計線の記入	
		e フレームワークの製作	
		f 人工歯の選択・排列・削合	
		g 歯肉形成	
		h 埋没、重合	
		i 咬合調整(削合)と仕上げ	
5 全部床義歯による治療	ア 義歯の設計		オーバーデンチャーを含む
	イ 臨床操作	a 前処置	
		b 印象採得	
		c 顎間関係の記録	
		d ろう義歯の試適	
		e 装着	
	ウ 技工操作	a 個人トレーの製作	
		b 作業用模型の製作	
		c 咬合器装着・調節	
		d 人工歯の選択・排列・削合	咬合様式を含む
		e 歯肉形成	
		f 埋没、重合	
		g 咬合調整(削合)と仕上げ	
6 インプラント義歯による治療	ア インプラント義歯の設計	a 上部構造の設計	診断用セットアップ、診断用ステントの製作、インプラント体の選択
		b 埋入計画の立案	
	イ 臨床操作	a インプラント埋入手術(一次手術)	一回法、二回法、コンピュータ支援手術、骨造成(骨増生)などの付随手術
		b オッセオインテグレーションの獲得	初期固定(一次固定)、生物学的固定(二次固定)
		c 二次手術	
		d 印象採得	オーブントレー法、クローズドトレー法
		e プロビジョナルレストレーション	荷重時期の選択
		f 顎間関係の記録	
		g 患者情報の記録と伝達	
		h 装着	口腔内試適と装着

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	ウ 技工操作	a セメント固定式上部構造の製作	既製アバットメント、カスタムアバットメント
		b スクリュー固定式上部構造の製作	
		c インプラントオーバーデンチャーの製作	アタッチメントを含む
7 特殊な装置による治療	ア 顎顔面補綴装置		
	イ オーラルアプライアンス		オクルーザルアプライアンス、OSAS治療用口腔内装置、下顎前方牽引(保持)装置、ナイトガード
	ウ 摂食嚥下補助床		舌接触補助床を含む
	エ 構音補助床		軟口蓋挙上装置、スピーチエイドを含む
8 指導と管理	ア 口腔衛生指導		禁煙指導・支援、インプラント一次手術前の指導と管理を含む
	イ 補綴装置に対する指導		義歯の清掃・管理、支台歯・インプラントの清掃・管理、睡眠中の管理を含む
	ウ 口腔機能向上に関する指導		機能障害の予防を含む
	エ 栄養指導	a 口腔機能に応じた栄養指導	
	オ リコールとメインテナンス	a ホームケア、プロフェッショナルケア	
		b 残存組織の変化とその対応	リベース、リラインを含む
		c 咬合の変化とその対応	
		d 機能低下とその対応	
		e 補綴装置の破損とその対応	技工操作を含む
		f インプラント支持療法	
	カ 治療効果の評価		

各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療〔約8%〕

大項目	中項目	小項目	備考
1 高齢者等の歯科診療で注意すべき疾患・病態・症候	ア 運動障害	a 脳血管疾患	
		b 関節疾患	
		c 骨折	
		d 廃用症候群	
		e 神経・筋疾患	Parkinson病
	イ 認知障害	a 認知症	
	ウ 摂食嚥下障害	a 摂食行為・食物認知障害	
		b 咀嚼障害	
		c 嚥下障害	
	エ 誤嚥性肺炎	a 呼吸器疾患	
		b 胃食道逆流症	
2 老化による口腔・顎顔面領域の症候	ア 機能的変化	a 咀嚼機能	
		b 摂食嚥下機能	
		c 発声・構音機能	
		d 感覚機能	
		e 反射機能	
	イ 形態的変化	a 歯、歯列	
		b 歯槽骨、顎骨	
		c 口腔粘膜、舌、唾液腺	口腔乾燥
		d 顎関節、筋	
3 高齢者等に関連した臨床評価・診断・治療計画	ア 全身状態の評価	a 身体状態	日常生活動作<ADL>、手段的日常生活動作<IADL>、Barthel Index<BI>、Functional Independence Measure<FIM>
		b 認知機能	改定長谷川式簡易知能評価スケール<HDS-R>、Mini-Mental State Examination<MMSE>、Functional Assessment Staging<FAST>
		c 心理	
		d 行動	
		e 栄養	
		f 服用薬物	
	イ 口腔機能の評価	a 摂食嚥下機能	VF、VE、頸部聴診法、咳テスト、咀嚼機能検査、舌圧検査、オーラルディアドコキネシス、ブローイング時間、反復唾液嚥下テスト<RSST>、改訂水飲みテスト<MWST>、フードテスト
		b 発声・構音機能	
		c 唾液量	
		d 筋	

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	ウ 診断		
	エ 治療計画の策定		
4 高齢者等に関連した予防と管理	ア 歯の喪失予防	a 口腔保健指導	
	イ フレイル予防のための歯科保健管理	a 口腔衛生管理	
		b 口腔機能管理	
		c 栄養管理	
5 高齢者等に関連した歯科診療	ア 歯および歯周疾患への対応		
	イ 歯の欠損への対応		
	ウ 軟組織疾患への対応		
	エ 口腔・顎顔面の硬組織疾患への対応		
	オ 構音障害に対する対応		
	カ 周術期口腔機能管理		
6 摂食嚥下障害への対応(摂食機能療法)	ア 治療的アプローチ	a 間接訓練	
		b 直接訓練	
	イ 代償的アプローチ		
	ウ 環境改善的アプローチ		
	エ 心理的アプローチ		
	オ 栄養療法		
7 障害者の歯科治療	ア 基本的対応	a 一般的対応	
		b 行動調整	
	イ 歯科治療上留意すべき事項	a 環境への適応性	
		b 姿勢・異常反射	
		c 呼吸管理	
	ウ 口腔疾患の治療		
	エ 口腔保健指導		
8 在宅医療、在宅支援	ア 訪問歯科診療	a 訪問歯科診療器材	
		b 保健指導	
	イ 多職種協働		